

実技審査上の着眼点

◎初 段

- 1、基本動作が正確に出来る。
 - (1) 着装が正しい
 - (2) 中段の構えが出来ている。(竹刀の握り方、両手のバランス左右の足)
 - (3) 姿勢、態度にみだれが少ない。
 - (4) 剣体一致の動きができる。
 - (5) 大きな掛け声が出る。
- 2、基本打突が正確である。
- 3、正しい切り返し出来る。
- 4、地稽古で無理の少ない打ち合いができる。
 - (1) 刃筋正しい打ち出来る。
 - (2) 打突後の残心がとれる。
 - (3) 連続の足運びが自由にこなせる。
 - (4) 剣体が一致した打突出来る。
 - (5) のびのびとした打突出来る。
 - (6) 手の返し、刃筋が正しく打突出来る。

◎二 段

- 1、打突にスピードと迫力が出ている。
- 2、正しい間合いがとれる。
- 3、仕掛け技、応じ技がほぼ身につけている
- 4、動きに無理がない。
- 5、打突に冴えが出てきた。
- 6、体が崩れず、腰が安定している。

◎三 段

- 1、攻め合いが中心の稽古になってきた。
- 2、打突の機会をとらえて打てる。
- 3、気力の充実、腰の安定と落ち着きがある。
- 4、打突が鋭く、重みが出てきている。
- 5、稽古に強さが出てきた。
- 6、応用技もでき、無駄な打ち合いが少ない。